

三重県工業研究所だより 第8号(令和5年5月)

伊賀焼技術講座“伊賀焼を学ぶ”

我々の業務の中で「人材育成」があります。これまでも単発の技術講座は行ってきましたが、タイミングが合わず受講できない方もありました。

そんな中、伊賀焼振興協同組合の理事から「伊賀焼に係わる若手たちが粘土や釉薬のことをもっと知りたがっている。」との相談を受けました。そこで、参加者とテーマの募集を組合が行い、我々がそのテーマに沿った講義を行うといった役割分担をしました。また、講義開始時刻を 18:30 にすることで参加しやすくしました。

その結果、令和1年から2年にかけて、表の様なテーマで 16 回行いました。また、参加者は伊賀焼窯元のみならず、関連する坯土・釉薬企業や支援団体参加企業・団体で延べ 22 社、参加人数が延べ 125 名となりました。

途中コロナ禍になり、対面での講義が出来ず、中断しましたが、オンラインの環境が整ったことで、最後の4回は ZOOM を活用して講義を行いました。

現在、この連続講座は行われていませんが、ご興味ございましたら、お気軽にお問い合わせください。

伊賀焼技術講座“伊賀焼を学ぶ”のテーマ名

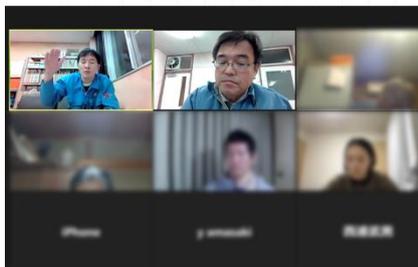
回	テーマ
1	伊賀地域の粘土
2	伊賀焼の歴史
3	陶磁器の原料 その1
4	陶磁器の原料 その2
5	焼成技術
6	陶磁器を化学の目で見ると
7	陶磁器素地について
8	伊賀焼素地について
9	丸柱周辺の粘土について
10	陶磁器を化学の目で見ると 2
11	陶磁器釉薬について
12	釉薬をガラスの世界から見る
13	釉薬とゼーゲル式
14	陶磁器素地の乾燥
15	耐熱陶器
16	SDS・シリコーン



テーマ「伊賀地域の粘土」の様子
(対面形式)

日本でも有数の粘土を産出する伊賀地域の特徴や成因についての解説、考察をし、参加者と討議しました。

加熱で割れにくい陶磁器	
●多孔質な陶磁器	穴が割れを防ぐ
●球に近い形状の陶磁器	加熱による熱応力集中を回避
●熱膨張の小さい陶磁器	加熱による熱応力を低下



テーマ「耐熱陶器」(オンライン形式)

全国で8割以上が三重県で生産される耐熱陶器(土鍋)の特徴等の解説、考察をし、参加者と討議しました。